

謹賀新年

社会福祉法人 桃林会 祥雲館 施設長 小林 修

新年明けましておめでとうございます。

平素からの皆様のご理解とご支援に、心からの御礼を申し上げます。本年も、グループホームの増床事業など、地域への福祉実践をさらに推し進めていきたいと考えております。

また、昨年から取り組みました「祥雲館Cafe」においては、地域の皆様と職員との相互理解が、ゆっくりとではありますが、確実に深まりつつあることを感じております。とはいえ、現実の目々の活動においては、一步前進二歩後退ということもあり、課題は増していくばかりであることも事実でございます。課題をchanceと捉え、日々challengeし、皆様のご期待に添えるよう努めてまいります。

私たちは、地域と共に成長できる、地域に貢献できる社会福祉法人として、日々の努力と研鑽を重ねてまいり所存です。

皆様方からの積極的なご意見・ご指導と共に、あらためて、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 敬具

平成23年 正月

笑 雲

しょう

うん

第49号
発行
平成23年1月9日

祥雲館

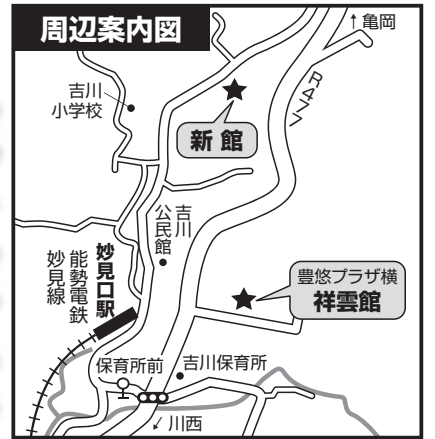
社会福祉法人 桃林会

〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL: 072-733-2301
FAX: 072-733-2303

番号をお間違いないよう
ご注意ください

今、祥雲館では新館グループホームの増床工事を進めています。このホームは、介護を必要とする認知症高齢者を対象にした介護施設です。平成20年7月に定員9名（1ユニット）で開設してから2年が過ぎ、来年4月より、定員を18名（2ユニット）に増床します。

グループホーム を増床します! 平成23年4月 オープン



た。転倒の際の衝撃の緩和にも効果があると考えています。もちろん、新旧の両ユニットに共通して、随所に認知症高齢者が生活しやすい環境への工夫を盛り込んでいます。認知症というハンデキャップを、環境によって乗り越えられるようにとの願いを込めてデザインしました。また、前回と同様に色彩心理を専門とされる木村千尋先生に内装を担当していただきました。華やかでも、落ち着きのある空間を目指しています。

また、建物に負けないように、スタッフもグループホームの準備に向けて、動き始めています。ちょうど2年経った今、今回の増床を機にグループホームとは何かを改めて考えさせられます。祥雲館では、グループホームの使命を、「利用者が地域や共同生活の場に、根付くための工夫を重ねること」としています。増床によって、認知症高齢者が安心して暮らせる受け皿の拡張という意義に加え、専門的実践を通して地域の方々に認知症に対する安心感を届けたいと考えます。

※入居などの相談は、祥雲館までお問い合わせ下さい。

(担当 上野)

祥雲館 Cafe 第5回 高齢者福祉を一緒に考えませんか?

祥雲館Cafeも今回で5回目を迎えます。毎回たくさんの方々に参加していただき、よりよい地域福祉のあり方や豊能町の高齢者が幸せに暮らせる町づくりに向けて、意見交換を行っています。

第4回では地域からの活動報告や祥雲館職員による実践報告を聞いていただき、その後のCafeタイムでは活発な意見交換ができ有意義な時間を過ごすことができました。今回も実践報告会と介護教室を同時開催します。福祉や地域の活性化に興味のある方の参加をお待ちしています。

【日時】平成23年1月22日(土) 10時~12時
【場所】祥雲館新館 デイルーム 【会費】200円(懇話会喫茶代)
【内容】①実践報告会 / (1)「ときわ台老人会~活動報告から~」語り手: 稲葉 稔彦さん
(2)「祥雲館職員からの事例報告~行動制限改善に向けての取り組みについて~」語り手: 渡部 直樹さん
②介護教室 / 「主体性を引き出す介護方法」講師: 西村 禎雄さん
※分科会形式のため、①か②のいずれかを選んで下さい。

お申込みは、祥雲館 TEL: 072-733-2301まで

食べて歌って、楽しい家族会

12月4日(土)、特養2階
うぐいすユニットにおい
て家族会を行いました。

メニューは一人の職員
が何気なく、「かにすきな
んで、どうでしょう?」と
提案したことから、かに
すきとなりました。

最後にはソフトクリ
ームを食べながら職員のギ
ター演奏に合わせてみん

なで上を向いて歩こうの
歌を歌い、締めくくりま
した。祥雲館での、かに
すきは前例がなく利用者
様、ご家族様、職員共に
大変満足のいく内容とな
りました。

今後も楽し
く満足できる
催しを行って
まいります。



祥雲館アーカイブ

祥雲館で最近の出来事をご紹介します。
当館ホームページのInformation欄からの抜粋です。

- ◆2010.12.14(火)
○新館グループホーム増床へ向けてのプロジェクトを行いました。
- ◆2010.12.1(水)・8(水)・17(金)
○施設内研修「現場知識」「身体拘束・虐待研修」を行いました。
- ◆2010.12.8(水)・10(金)
○本館・新館 年末一斉清掃をしました。
- ◆2010.11.15(月)
○新館グループホーム増床へ向けてのプロジェクトを行いました。
- ◆2010.11.10(水)・24(水)
○施設内研修「身体拘束・虐待研修」「現場知識」を行いました。
- ◆2010.11~
○ご利用者様及び、職員へインフルエンザワクチン接種をします。
- ◆2010.10.23(日)
○第4回祥雲館Cafeが行われました。たくさんの方々の地域の方々に参加していただきました。
- ◆2010.10.12(火)
○新館デイあじさいにて外出レクで猪名川ジャスコへお買い物にいきました。
- ◆2010.10.10(日)
○吉川秋祭りがありました。祥雲館も参加させていただきました。
○『笑雲』第48号発行しました。
- ◆2010.10.8(金)
○新館デイあじさいにて外出レクとしてコスモス園見学に行きました。
- ◆2010.10.4(月)
○新館デイあじさいにて外出レクとしてコスモス園見学に行きました。
○本館にて訪問衣料販売が行われました。

祥雲館のホームページ

<http://www2.gol.com/users/syownkan/>

次回の発行は平成23年4月10日(日)です

大阪民間社会福祉
事業従事者共済会

ソフトボール大会

「秋空の下、私たち
は舞洲スポーツグラウ
ンドで、大人げもなく
胸上げをして喜びを分
かち合っていたのであ
りました……。実は、
10月21日(木)に開催され
た大阪府共済会ソフト
ボール大会にて、祥雲
館チームが念願の優勝
を果たすことができました。
各参加チームは
強豪ぞろいで苦戦を強
いられましたが、私た
ちはチームワークを活
かしながら計5試合を
乗り切ることができま
した。

例えば、素人集団で
チームを結成した10年
前。キャッチボールが
できない選手や野球の
ルールも知らない者さ
えいました。そんな状
態でありながらも、当
時から豊能町内の試合
に参加させていただき
ました。そして、試合
の中ではアドバイスを
頂戴したり、皆さんの
すばらしいプレーを目
の当たりにすること
で、実践の難しさと基
本の大切さを学ぶこと
ができました。役員の方
々、豊能町内の各



祝優勝

チームの選手の方々、
私たちを育てて下さり
本当にありがとうございました。

フィールドワーク

紅葉が鮮やかに映える頃、吉
川中学1年生が、祥雲館にて
フィールドワーク(職場体験)を
行いました。初めての生徒さん
が多く、興味津々という感じ
でした。

車椅子に乗っての操作の難し
さや、立っている時よりも低い視
界を体験してもらいました。リフ
ト付きの送迎車では、リフトが
上下に動いている時の怖さ、その
怖さを緩和するための声掛けの
大切さを理解してもらいました。
今回の体験を通して歩けるこ
と、お風呂に入れること、車に乗
れることなどが、当たり前で
できることの素晴らしさを感じて
もらえればと思います。